

ほっとサロン虹

通信

2024.10.18

ほっとサロン虹は、がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど
気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。

テーマ：医師とのコミュニケーション

講師：がん看護専門看護師 上田 佳奈

記：医療社会事業専門員
浦川 弘美

今回は、当院のがん看護専門看護師の上田さんが「医師との
コミュニケーション」というテーマでお話をされました。

医師にこんなことを聞くと変に思われないか、診察が
終わった後にあれも聞いておけばよかった、と思う経験は
ありませんか？ 限られた時間の中で、医師と上手にコミュ
ニケーションをとるポイントや工夫がいくつかあります。

症状の相談をする時は、①いつから ②どんなとき
③症状・程度 ④部位 ⑤その他の症状 ⑥頻度の6つ
のポイントを意識して医師に伝えたと良いとのことでした。「ずっとお腹が痛い」と言っても、ずっととはどのくらいの
期間を指すのか、痛みの程度をどのように認識するか
は人それぞれです。症状の出現回数や時間、部位や程度
を具体的に伝えることで、医師との認識のずれを少なくす
ることができます。

医師から説明を受ける前には、質問したいことや伝えたい
ことを整理してノートに書き出しておくことも有効です。
説明を受ける最中も、説明の内容をノートに書き後から見
返せるようにしておく、理解を深め質問を考える一助に
なります。ご自身で書き出すことが難しいと感じる場合は、

がん情報サービスが提供してい
る質問事項が整理されたパンフ
レットを活用しても良いとのこと
でした。



また、ご家族や親しい友人など信頼をおける人と一緒に
医師の説明を受けることや、他の医療者に医師との橋渡
しをしてもらっても良いとのことでした。

終了後には参加者同士で医師の説明を聞く時の工
夫や心構えを話され、がんの治療経験をもとにした
考えに感心したり質問があったりと活気のある会と
なりました。

ほっとサロン虹はがん治療をされた患者さんや
ご家族の方同士で気になることを話したり、相談が
できる場となっています。

次回は実際に緩和ケア病棟を見学できるツアーを
開催します。初めての方もお気軽にご参加いただ
ければと思います。

